

平成31年2月28日(木)

卒業式予行と同窓会入会式

本日、めでたく校長便りは200号に到達いたしました。この記念すべき日に、3年生が久しぶりに登校し、進路を切り開いた雄姿を見せてくれつつ、明日の卒業式の予行と同窓会における卒業記念品贈呈式と同窓会幹事委嘱を行うことはこの上なく喜びを感じる次第であります。

3年生の諸君、改めて3年間の努力の日々の成果と喜ばしい明日の卒業式の挙行について、心からお喜び申し上げます。

もはや記憶の向こう側に片付けられていく3年間の月日について、一つ一つめぐりくるその時々思いと感情については、人それぞれ卒業生の中に構築されているに違いありませんが、総じて、磐城高校の日々は、あなたたちにとってどのような日々であったのかをもう一度尋ねてみたいと思います。

やりたいと思ったこととやれなかったこと、できたこととできなかったこと、心から喜んだことと悲しんだこと、後悔することと満足すること、そのどちらでもない何とも言いようがないぼんやりとした複雑な思いもある中で、総じてその日々は自分の今をどう構築しているのかを私に告げようとして言葉に表してみてください。

言葉に表してみると、今の立つ位置が明らかになるのではないのでしょうか。今の立つ位置が明らかならば、そこから到達すべき点に向けて歩を進められるはずです。どうか、今からその歩を進めてください。どうか、前を向いて進んでください。

明日、晴れの日、様々な思い出を胸に旅立つ3年生諸君の、今後の人生と様々な新たなる出会いについて心からの祝福の言葉を送りたいと思います。

卒業おめでとうございます。そして、行ってらっしゃい。

できれば、ゆくゆくは故郷に帰って、地域を支え、次世代を支えていただければこの上ない喜びです。校長は、ずっと、この地で君たちが進む道筋にできる滯つくし浴いの航跡を見つめ続けたいと思っております。

校長便りも明日の201号から新たなる次の段階へと進むことでしょう。